隔月誌（平成29年1月発行）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

かなえるレター

リニューアルしました。

KANAERU LETTER

2017 vol.1 23号



今月の表紙

作品

「折り紙」

大阪市　乾 様

鶴は「お父さんの病気が良くなりますように」と願って作りました。

「まり」

「鶴」

「リボン」

担当者　座る時間を確保するために提案した折り紙でしたが、楽しみになったとおっしゃっていました。
レターに掲載することを快くお受け頂き、写真を撮る日にはよそいきの服とお化粧バッチリで準備して頂いていました。

ご利用者からの”投稿募集”



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえるリンク　検索

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

〒550-0015
大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室

TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数（H28/12/20時点）

介護保険…	1,047名
医療保険…	391名
その他　…	8名
計	1,446名

（社員数110名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

〒604-8375
京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室

TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数（H28/12/20時点）

介護保険…	234名
医療保険…	28名
その他　…	4名
計	266名

（社員数20名）



—「ご利用者」とともに—

ニットサロンを再開したい 趣味が繋ぐ「希望と目標」

今回は当事業所の理学療法士の金が担当していますご利用者の川口千鶴子さまを取材させていただきました。
川口さまは城東区でニット編みを趣味とする御友人達と『ニットサロン』を開催し、そこで先生をされています。

『ニットサロン』をまた再開したい

昨年4月、寝室で転倒され左足の大腿骨骨折で3ヶ月の入院を経て自宅に戻りました。しかし以前の活気は無く、お顔も曇りがちで外にも出たがらない状態だったそうです。

「骨折前までの元気を取り戻したい。ニットサロンをまた再開したい。」とご本人の希望により8月からリハビリを開始いたしました。

サービス開始当初は同時に首と肩の具合も悪く、趣味のニット編みも滞り、お顔も曇りがちでしたが「ニットサロンを再開したい」という気持ちでリハビリもスムーズに進み、首と肩も改善し、9月にはニットサロンを再開されました。

今でも肩の運動（肩回し）はご本人さまの「宿題」として自主的に行っています。その成果もあり猫背が改善し歩行姿勢もよくなりました。

階段昇降をリハビリ介入時より行っており、約2ヶ月で可能になりました。

ご本人さまは「人に迷惑をかけたくない、なんでも一人で出来るようになりたい。」という意思で、一人で外出できるようにとリハビリに励み、11月にはカートを押して近隣の郵便局や商店街にお一人で外出することが可能になりました。

▸H28.4月	寝室のベッドサイドで転倒し大腿骨骨折、入院
▸H28.7月	自宅に退院
▸H28.8月	ニットサロンの再開を目標にリハビリを開始
▸H28.9月	スムーズにリハビリが進みニット教室を再開
▸H28.10月	階段の昇降が可能に
▸H28.11月	カートを押してお一人で外出



肩の運動（肩回し）で猫背を改善し、歩行姿勢が良くなられたそうです



カートを押して、お一人で外出することが出来るようになりました



ニット教室ではアットホームな雰囲気の中、皆さん思い思い楽しんでおられます



次に設定した目標に向けてリハビリを今も励んでいます

繁華街に『材料』を買いに行くこと

現在はカートではなく杖で外出できるようになることを目標にリハビリに励まれています。また、その後は繁華街に出て、趣味のニット編みの材料などを買いに行くことを目標にされています。

ご趣味のニット編みを始められて60年、きっかけはお子様が生まれた時に出産のお祝いにと『毛糸玉』をいただいた時「一体、どう使うのだろうか？」という疑問からニット編みを始められたそうです。今では御友人達と共にニットサロンを開催し、そこで先生をされています。そんな川口さまですが、何度も『ニット教室』を辞めようとお考えになられたそうですが、それでも続けてこられたのは「先生、辞めないで続けて下さい。とサロンの皆様が後押ししてくれたから。」と仰っていました。

趣味の『ニット編み』と毛糸が繋いでくれた『生徒さん達』との関係が、前向きに生活されている川口さまの活力の源だと感じました。

取材：株式会社かなえるリンク　広報課　川口 智之

栄養 豆知識

寒い冬を「元気」に過ごす方法

年末年始のごちそうで胃腸がお疲れであったり、体調を崩されてはいませんか？ 1月7日に食べる七草粥には、胃腸を休める効果がありますが、他にも普段の生活の中でできる胃腸のいたわり方がありますのでご紹介します。



管理栄養士
江星　瑠璃

温かい飲み物を飲みましょう



身体を温め、
腸の働きを良くします

冬野菜を食べましょう



消化を助け、胸やけ
胃もたれの予防します

ヨーグルトを食べましょう



胃の粘膜守り、
腸内の環境を整えます

煎り豆の効能



また、2月になるとは節分があります。
節分で食べる煎り豆には、寒い冬を乗り越えるための栄養がたくさん含まれています。
この機会に煎り豆を食べて寒い冬を元気に過ごしましょう。

煎り豆の効能①
体を温める
&
煎り豆の効能②
美肌効果
&
煎り豆の効能③
風邪の予防
&
煎り豆の効能④
便秘解消



ご利用者「投稿コーナー」



作品「華道」

いつもは穏やかで優しい表情が華道の時は
表情が真剣モードに切り替わる様子が印象的です。

担当スタッフ

住之江区
南港中
N·T さん



※あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえる TOPIC-01

かなえるリンクより「新年のご挨拶」

株式会社 かなえるリンク
代表取締役 谷 隆博

皆さま、新年あけましておめでとうございます。皆様のおかげをもちまして無事に新しい年を迎えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

昨年には、訪問看護事業以外に大阪市西区において障害児相談支援・児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援を行う複合事業所を開設する事が出来ました。



西区の地域の方々や行政・他事業所のご支援頂きながら、地域に貢献できるよう日々精進しております。

また、この1月には、大阪市住之江区に「かなえるリハビリ訪問看護ステーション サテライト南港」を開設できた上、11月には法人として5年を迎えることとなります。

この5年間を振り返りますと、大阪市内で事業所を立ち上げ数名の社員と共に事業を開始したことを昨日の事のように思い出されます。

当社の理念であります「ご利用者第一」「地域社会に貢献」「社員・社員の家族第一」をもとに、地域で必要とされるサービスを提供し皆さまに信頼されるよう社員一丸となり、今年も「選ばれる事務所作り」に徹してまいります。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

かなえる TOPIC-02

「かなえるプラス勉強会」を開催

株式会社 かなえるリンク
教育研修課 責任者 瀬川 朋子

先日かなえるプラス勉強会が開催されました。毎年12月に開催されており、日々の業務の足元点検を行っています。今年は、3組の外部講師の方をお迎えし、大変有意義な勉強会となりました。

特にかなえるリハビリ訪問看護ステーション都のご利用者でもあるライスご兄弟(ライス チョウ ジョナ シェン様・ライス チョウ ノア ピンアン様)のご講演では、生活や活動の話をはじめ、医療職に求めることについてお話しいただき、地域で働く者として改めて身が引き締まりました。

また、顧問弁護士である青木弁護士からは訪問看護事業所に求められるリスクマネジメントについてのお話しをいただき、実際の事例を通してどのような点に気を付けてサービス提供をすればよいか等、マニュアルの大切さの再確認にもなりました。さらに、当社のグループ会社である㈱東京リハビリテーションサービスから



は、取締役代表の青山様はじめ、安川様からは教育研修体制についてのお話し、扇様からは就労移行支援についてのお話しがあり、地域で働く専門職に何が求められているか、何をしなければならないかを考えさせられる機会となりました。

勉強会後は、懇親会も開催され、ライスご兄弟や東京リハビリテーションサービスの皆様にもご参加いただき、大変賑やかな会となりました。次は、来春にかなえるシーズンイン研修が開催されます。また、新たな一年に向かって足元を固め、地域で働く専門職として、より成長していきたいと思います。

新年あけましておめでとうございます。今号より心機一転「かなえるレター」をリニューアルさせていただきました。今回「かなえるレター」を制作するなかで沢山の方々にご協力をいただき発行させていただいているという事を実感いたしました。本年もより良い情報をお届けできますよう精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



編集者 広報課 川口 智之